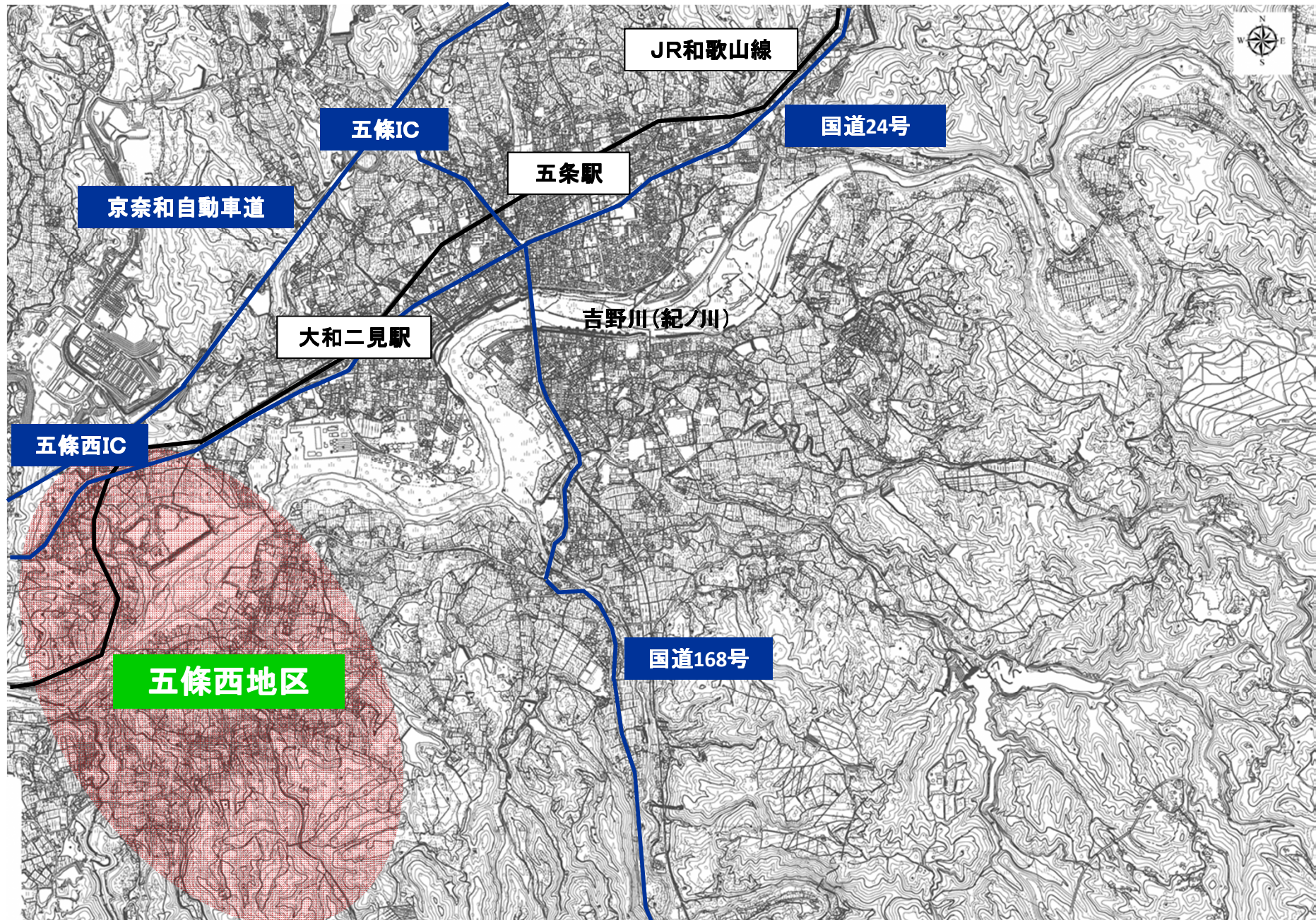


五條西地区のまちづくりについて

五 條 市
平成29年7月

位置図



五條西地区のまちづくり

まちづくり構想の背景

- 紀伊半島大水害の経験から市民の防災意識が高まる中、近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震の発生を見据え、上野公園や大規模な空閑地がある立地状況を活かした、防災機能の充実が必要である。
- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催などを契機とした交流人口の増加、特産品の流通拡大や商工業等の企業誘致による雇用創出など、地域活力を創出し、少子高齢化や人口減少に歯止めをかける必要がある。
- 平成29年夏に京奈和自動車道(御所南IC～五條北IC)が開通することにより、大阪中心部や関西国際空港との交通アクセスがさらに向上する。

まちづくりのコンセプト

「防災力の向上」と「ヒト・モノ・カネの流入」による地域の活性化

- ・ 南海トラフ巨大地震に対する迅速な救援体制の構築
- ・ スポーツを通じた地域の活性化
- ・ 特産品の流通拡大、商工業等の企業誘致によるヒト・モノ・カネの流れの構築

基盤となる取組

➤ 防災力の向上

- 南海トラフ巨大地震にも対応した大規模広域防災拠点（応援部隊のベースキャンプ機能等）の整備
- 陸上自衛隊駐屯地の誘致
- 市町村間の協定に基づく広域避難支援を視野に入れた防災強化施設の整備
 - ・ 発災時：炊き出し支援施設、自家発電施設
 - ・ 平常時：飲食物提供施設

➤ ヒト・モノ・カネの流入

- スポーツを通じた地域の活性化（※）
 - ・ 国際大会、全国大会等の開催及びキャンプ地招致
 - ・ スポーツ合宿の誘致 など
- 産業・雇用の創出
 - ・ 五條西IC周辺の交通利便性を活かした商工業等の企業誘致
 - ・ 農林水産物やジビエ等、特産品の流通拡大
- 交通アクセス強化
 - ・ 大規模広域防災拠点へのアクセス機能の強化

※ スポーツを通じた地域の活性化

平成28年10月6日に「スポーツを通じて地域を活性化するための連携と協力に関する包括協定」（奈良県、五條市、橿原市、御所市、葛城市）を締結。2019年から2021年までに、国内で行われる3つの国際大会が開催されることを契機として、4市と県とが連携・協力してスポーツを通じた地域の活性化を図る。